

第6回愛育園箸ピー大会が盛大に開催されました。



箸ピー大会

園長 藤本光世

正しい箸使いと、正しく鉛筆が持てることを願って初めた箸ピー大会は6回目になりました。(正しい箸の持ち方で、下の箸を抜くと正しい鉛筆の持ち方になります。)

箸ピー競技とは、国際箸学会公認の容器(箱)の一方に50個の殻付きピーナッツを入れて、それをお箸でもう一つの箱に移す競技です。右手と左手で1分間に移した豆の合計数で競います。

年々子どもたちのやる気が増して、今回は12月半ばから練習を始めました。良い記録を出せば、川口市の国際箸会館で開催される第2回箸りんぴっくに連れて行ってもらえるかもしれない。毎日の記録をグラフにつけて、それとは別に最高記録も貼りだして否が応でも、熱気が高まりました。

正々堂々とやろうね、生活が大切だよ、と言っても高い記録を出したい、負けたくないという気持ち強いのです。そこで、ごまかしたり、ルール違反をしたり、隠れてやってみたり、うまくいかないときはいじめてみたり、子どもですから色々やってくれます。そこで、我慢とか、正義とか、ルールとか、心のコントロールとか、いろいろなことを学びます。そして、競技をきっかけに生活を見直すことができます。毎日の生活(日課)に進んで取り組みます。

子どもたちには1分間の集中力が高まります。傍から見て子どもの集中が怖いほどです。

この競技の素晴らしいところを書きましょう。

1. 誰もが、ハンディなしで、同じ土俵の上で競技できる。例えば100m競争ではどうでしょう。小学校の子どもは決して高校生には勝てません。ところが、この競技は小学生でも練習すれば高校生に勝てるのです。大人にも勝てます。だから、子どもたちは誇らしげに「園長先生こうやるんだよ」と教えてくれます。なんと、ほほえましく、良い光景ではないでしょうか。



このような競技は箸ピー競技しかありません。

2. 正しい箸の持ち方ができないと、勝てません。自然と正しい箸の持ち方が身につきます。自分から正しい箸の持ち方を工夫します。そして、左手(非利き手)で競技することにより、右手の持ち方を確認します。
3. 集中力が増します。1分間の集中力は相当なものです。
4. 頑張ろうとする気持ちが湧く。
5. ルールを守ろうとする気持ちが生まれる。単に数を競うだけではありません。ごまかさずに正しく競技する心ができます。
6. 緊張に打ち勝つ力が身に着く。
7. 生活に反映する。(きちんと生活できない子は記録が悪いし、上下する。)心の動きが分かります。そして、生活を律する子が生まれる。(自ら朝早く起きる)
8. 食事のマナーを良くしようと努力する。

児童養護施設は、集団生活で年齢差のある子どもたちが食事を共にします。ですから、箸ピー競技には最適な環境と言えるでしょう。

円福寺愛育園は国際箸学会の小宮山会長様のご協力を得て箸ピー競技を重ねてきました。今年は国際箸学会公認大会のご承認をいただき、埼玉県から公認審判員おいでくださり、西横田区の皆様や篠ノ井東中学校の校長先生、通明小学校の教頭先生、先生方も参加して、大勢で競技を楽しむことができました。

今年の優勝者はHYさん。記録は合計299個でした。これはすごい記録です。彼女の競技箸使いを見ると、まさにスズメやハトが嘴で草の種やお米、お豆をついばんでいるようです。とても速いです。子どもたちに聞くと、速く豆を運ぶコツは箸を短く持つこと。そういえば、スズメもハトも嘴が短く太いことに気が付きました。箸は、嘴です。

2月2日付の長野市民新聞に記事が掲載されました。





集中豆つまみ競争

円福寺愛育園 地区役員も参加

篠ノ井横田の児童養護施設「円福寺愛育園」で1月31日、落花生(ピーナツ)を箸でつまみ、2分間に箱から箱へどれだけ移せるかを競う「箸ピー大会」が行われた。3歳から高校生までの子供たちと、地区の役員や小中学校教員ら合わせて約80人が競った。

箸の正しい使い方を身に付けることで鉛筆を正しく持ち、集中力を養う目的で毎年開き、今年で6回目。真剣に箸で豆を移す出場者

幼児、小学低学年、同高学年、中高生の4班に分かれ、大人も加わって個人戦を実施。参加者は真剣なまなざしで箸を動かしていた。1チーム14人の4チームがタイムを競う団体戦では、競技者にチーム全員が声援や拍手を送って応援した。個人戦で299個を移し、優勝した通明小学5年生のHYさんは「優勝できるとは思わなかったから、びっくりした。練習の成果が出せてうれし」と喜んだ。

HYさんは、昨年は豆を飛ばしてしまって悔しい思いをしたので、今年の喜びはことのほかだったでしょう。

普段の生活も頑張ってるね。

箸ピー大会への願い

副園長 青谷 幸治

今年で第6回を迎えた箸ピー大会。年々、回を重ねることで愛育園の大きな行事になってきました。箸ピー大会を開催する大きな目的には、箸の使い方を覚える。食事のマナーを身につける。集中力を高めるなど生きていく上で大切なことが目的になっています。

約1ヶ月間、一分間でお豆をいくつ運べるか？毎日の練習の中で集中力と手先の使い方を磨き上げてきました。以前のように箸ピー大会を通して子どもたちに正しい箸の持ち方を教えたり、マナーよく食事をさせたりというきっかけにする時期は過ぎ、現在では立派な競技(スポーツ)になり

ました。昨日より今日と自分の記録を塗り替え、回りの仲間と勝負するのではなく、昨日の自分に勝つこと。その結果、お豆を運ぶ個数が飛躍的に伸びました。子どもたちにとって、新たに自分にチャレンジできる行事になりました。

箸ピー大会も他の行事と同じく、毎日の生活の中で何でも一生懸命に取り組むこと。どんな壁にあたって乗り越えること。行事を通して、普段の生活を有意義に過ごし、そして心を育てていくものになればと思っています。今年も第6回の箸ピー大会が盛大に行われました。児童、職員と一緒に心のこもった準備ができました。多くの来賓の方々におもてなしの心でお迎えできました。

国際箸学会の皆様、東中の校長先生、小学校の先生方、西横田区の役員の皆様、お忙しいところ箸ピー大会に参加していただき、そして盛り上げていただき誠にありがとうございました。

第6回箸ピー大会

あおぞらホーム長 富沢正樹

1月31日、第6回箸ピー大会が行われました。

左右1分間ずつ、箸で落花生をいくつ移動できるかを競うこの競技も今年で6回目となりました。もともと箸使いの向上や集中力を養う為に始まったこの行事も、今ではそればかりでなく、「どうやったら記録を伸ばせるのか？」を子供たち自身が考える様になり、技術的な事ばかりでなく、記録を伸ばすためには、心を整えて臨まなければいけない事を知り、心を整えるためには日々の生活から大切にしなければいけないという事まで学べる行事となってきました。

その結果、年々レベルが上がり続け、両手で計った数を足すと250個以上になる子が多数おられます。第3回大会くらいまでは、200個を超える子が2、3人いたくらいでしたが、それでも「すごい、すごい」と言っていた頃がウソの様です。

どんなことでも、また、調子のいい時も悪い時も、とにかく一生懸命にやる。という事が実践できている子ども達は本当にすごいと思います。

中には、練習中に記録が伸びずに痛癢を起してしまう子や、日によって練習に消極的な子もいま



ましたが、全体の雰囲気やる気に満ちているので、その空気を感じると、その後、自分で反省でき、気持ちを持ち直す事ができます。

練習の記録も毎日グラフに表していったのですが、一か月以上も練習していると、大体自分の実力が分かってきます。大体200個前後が平均のN君は、時には300個以上の記録を出す様な子のグラフ

を見ると、「あっ、自分は勝てない」と思っていたでしょうが、だからと言ってあきらめたりせず、自分の記録をコツコツと更新していこうと頑張ります。投げやりになることなく、素直に相手の事

も自分の事も認められるようになってきたN君は、結果的に大会本番で小学生高学年の部で3位入賞する事ができました。ちゃんと努力して、初めて賞をもらえて、本当にうれしそうでした。

大会当日、個人戦では、それまでの練習の真剣さを表すような緊張感があり、不安と自信の両方持ったような顔つきをしている子ども達が多く、競技の終わった後は、力を出し切った達成感から、すっきりした表情をしていました。

団体戦は、みんな自分のチームを精一杯大きな声をだして応援して、大変盛り上がりました。

子供たちにとって、練習から本番にかけて大きな成長の場となった箸ピー大会。子どもだけでなく、私たち職員にとってもたくさんの気付きや、また新たな課題も見つかった行事となりました。来年は、更に更に箸ピー大会という行事が、児童の自立につながる場となるように、毎日の生活から、子ども達とともに頑張っていきたいと思います。

第6回箸ピー大会

まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織

1月31日は第6回箸ピー大会が行われました。この日を迎えるまでに子ども達は一ヵ月以上前から箸ピーの練習に取り組んできました。最初は中々うまく豆を運べない子どもたちでしたが、毎日繰り返し繰り返し練習を行っていくうちに、少しずつ記録も伸び始めてきました。ただ数を気にしている結果、少しでもうまくいかないと拗ねたり、嫌な態度を取る子どももいました。でも今思えばそれほど箸ピーに対して一生懸命取り組んでいたんだなーと感じます。

私たち職員が子ども達にいつも言っていたのは、「数が良ければ良いわけじゃない。一生懸命やる事が大切であり、やり続ける事が大切。」という事を言い続けてきました。これは箸ピーの行事だけでなく、生活の中でも言えることです。出来る出来ないではなく、まずやってみる！！この気持ちはこの行事にも共通する事でした。



今回箸ピー大会で優勝したHさん。Hさんも毎日箸ピーの練習に一生懸命取り組んでいた一人でした。しかしHさんは豆がうまく運べないとイライラして、周りに嫌な思いをさせた事がありました。その時に私から注意を受けたHさんでしたが、素直に聞けず最終的にはホームに帰りなさいと言われてしまいました。その日の夜なぜ注意をされたかわかるか確認すると、注意された理由はわかっているようですが、自分の悪かった事が中々素直に認める事が出来ませでした。その為いつも以上に時間をかけ、そしてたくさん話をしました。素直になるという事は自分のこれからの成長に

繋がる大切な事だし、素直に人の話を聞き入れられる人は、周りにたんさんの人が集まるようになる事、また協力して欲しい時には、たくさんの方が協力してくれるようになる事・・・。本当にさ

まごまご話をしました。するとようやく彼女の口から自分が悪かった事が言えたのです。これは彼女にとって一歩成長したと思いました。今回の箸ピー大会に向けての練習も自分の記録を伸ばすことも大切ですが、周りを良く見て、皆が気持ちよく練習できるような雰囲気を職員と

作ってほしいと話をしました。

それからはうまくいかなくても、

拗ねたり、嫌な態度を取ることは

減り、最後まで練習に臨むことが出来ていたように感じます。

その結果今回の優勝に繋がったのではないかと思います。

Hさん！！優勝おめでとう！！

箸ピー児童感想（まごころホーム）

1月31日に第6回箸ピー大会がありました。30日は前日準備と当日の為の練習もしました。

そして今日が本番になりました。はじめに開会式を終えて、最初に個人戦をしました。私はA. B. CのBチームだったので、2番でした。私の番が回って来た時はとても緊張していましたが、「リハーサル、リハーサル」と思って緊張をほぐしました。

でもなかなかうまくほぐれず、箸を持った手

も震えて、中々ピーナッツが上手に普段通りに掴めませんでした。でも諦めず最後までやって、何とか最近出ていなかった300個の記録を出す事が出来ました。

結果は1回目283個、2回目301個でした。次はキング決定戦です。上位8位までが出られますが、「この記録で大丈夫かな〜？」

と心配になりました、一位で私の名前が呼ばれ、ビックリしました。いよいよ一発勝負のキング決定戦が始まりました。

前にある赤い椅子に座って皆が見ていたので、とても緊張して、手が震えてしまいましたが、なんとか左右一分ずつ記録を出す事が出来ました。

そのあとは団体戦をやり、いよいよ結果発表です。

一昨年はキングになれましたが、去年はキングになれなくて負けたくない、悔しいと思いました。

一生懸命やったら299個いけて、優勝できて良かったです。優勝できて本当に嬉しかったです。

箸オリンピックに選ばれたいです。(小5 H・W)

今日は第6回箸ピー大会をやりました。開会式の際はテレビ局や新聞記者、国際箸発会の方たちが来てくれていて、競技説明の時にデモンストレーションをやった時、とても緊張しました。

個人戦ではカメラもあり、いつも以上に集中する事が出来ず、1回目250個2回目257個と、いつもの記録よりも少し下がってしまい、キング決定戦に出られるのか心配でした。

キング決定戦出場



者の名前が呼ばれる時はとてもドキドキしましたが、私の名前が呼ばれた時はとても嬉しかったです。予選ではいつもより低い記録が出てしまい悔しい思いをしたので、今回は良い記録が出るように頑張りました。そしたら283個という数が出て、予選よりも20個以上も上回る記録が出ました。とても嬉しかったです。閉会式では表彰式も行われました。とてもドキドキしながら司会者の話に耳を傾けました。キングが発表された時は1位になれずとても悔しかったです、2位になる事ができただけでも嬉しかったです。賞品の中にはきんちゃく袋が入っていて、最初は買ったものかな？と聞いていましたが、手作り聞いてびっくりしました。大切に使いたいです。そして、2月6日の箸りんピックも出れたら良いなと思っています。(小6A・T)

今日箸ピー大会が行われました。後悔していることは、緊張してうまく箸が持てなかったことです。たくさんの人や、予選は2回しか出来ないという中では緊張せずにはいられず、手も震えてしまい、今までの記録の中でも一番低かったです。逆に嬉しかったのは、団体戦で優勝したことです。練習では3位くらいで本番もダメかなーと聞いていましたが、たくさん応援とみんなの練習の成果が優勝に繋がりました。本当に最後まであきらめず一人一人が頑張る事が出来、とても盛り上がりました。今回の箸ピー大会は大成功に終わったけど、練習期間中は色々な事がありました。当日よくても皆でやる事が大切だと思うので、来年はもっと良い形で、そして一人一人が気持ちで終われるような箸ピー大会になると良いなと思います。(中2R・A)

第6回箸ピー大会 児童感想(あおぞら)

今日は第6回箸ピー大会がありました。地域の人や学校の先生も来てくれました。

今回の箸ピー大会は、練習から頑張りました。練習期間の間に、自己記録更新を14回も記録を更新する事ができました。本番でもよい記録が出せました。個人戦で243個の記録を出せました。個人戦の上位8名だけが出られるキング決定戦にも出場する事が出来ました。

今年の優勝者の記録は301個でした。すごい記録だと思いましたが、来年は、自分もそんな記録が出せる様に頑張りたいです。(中3 H.A)

今日は箸ピー大会がありました。ぼくは、練習では200個以上の記録を出せていたけど、本番でも力を出せるか不安な気持ちでした。けれど、不安な気持ちを忘れて頑張りました。そしたらなんと、小学生高学年の部で3位になる事が出来ました。そして、団体戦では、力を合わせて1位になる事が出来ました。練習してきた力を発揮できた事と、今までは賞をとれずに悔しかったけど、今



年初めて賞をとれてうれしかったです。

2月にある箸りんピックに行ける様に、これからの生活を頑張りたいです。(小5 M.N)

年末年始の愛育園

あおぞらホーム 山口 亮

12月31日、園に残った児童と一緒に年末年始を過ごしました。私も今年で愛育園での年越しは3年目という事もあり、毎年の楽しみとしています。大晦日は、園に残った児童と一緒に買い物へ出かけてまずは人数分の食材の買出しです。今年は人数が多かったものですから、お店に付くと荷物を運んだり、探したり大忙しです。ですが、一緒に買出しに行ってくれた子ども達は職員に必要な食材を聞き、「自分達で探してくるよ！」とカートを持って店内から食材を探してくれました。買ったものも自分達で詰め込みました。食事には毎回テーブルや箸、お皿、コップ等を毎回並べなくては行けません、それも子ども達が自分達で進んで行き、職員の指示を聞かなくてもみんなで用意をする事ができました。片付けや掃除となると男の子はテーブルを畳んで運ぶ力仕事、女の子達は食器を洗って拭いてくれたりと大助かりでした。

また年末年始とは言っても中には受験生も居ます。受験生でなくても日中はみんな静かに談話室に来て学習に取り組んでいました。それぞれの学年から出されている課題もありましたが、それとは別に冊子をコピーして自主勉強に励んだり、苦手な科目に取り組み課題を克服しようとしたりと頑張っている姿が多く見られました。その結果もあり、年始明けのテストでは大幅に点数が上がった子も居ました。

それぞれが自分なりの年越しを過ごした後、朝、全員でしっかりお参りをしてから初詣に横田神社に出かけました。こちらが何も伝えなくても地域の人に新年の挨拶をして、参拝の方法をしっかりと守り、新しい年をそれぞれスタートさせていました。

正月休みからの子ども達の学習

まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織

だんだんと寒さも厳しくなってきた今日この頃。冬休みも終わり、ようやく生活リズムも戻り、子ども達は毎日元気に学校へ通っています。最近愛育園では学習に力を入れる児童がとても増えてきています。冬休みの様子を振り返ってみても、特に中学生は本当に良く勉強しており、受験生はもちろんですが、受験生以外の児童も一日中、学習計画に沿って取り組んでいました。また小学生も一生懸命冬休み帳に取り組み、あっという間に全て終わってしまいました。ある時小学生に、「問題集ほしい〜？」と聞くと「欲しい！！」と言うので全員分準備をしてあげると、休日の午前中を使い、みんな集中して問題集に取り組んでいます。ある児童は早く新しい問題集がほしいと言い、一時間以上集中して取り組む姿も見られました。きっとただ勉強をやりなさいと言っても、子ども達のやる気がなければここまで出来ませんが、みんなそれぞれ目標だったり、将来の夢がしっかりあるからこそ、学習をととても大切にしているのだなーと感じます。子ども達の姿を見て改めて目標や夢を持つことの大切さを感じる事が出来ました。これからも日々応援していきたいと思いま

しめ縄集め・どんど焼きがありました

あおぞらホーム 山口 亮

新年明けて初めての地区の行事として、しめ縄集め・どんど焼きがありました。小学生は朝早くから地区のしめ縄や正月飾りを集めてまわりました。子ども達は各お宅の前に出ている飾りを集めては、軽トラックに積む作業でしたが、誰も文句を言う事なく決められていた場所以外も回ってきました。そのおかげもあってか本来1時間かけて集める予定の場所が、20分程度で回る事ができていました。その後は近くのグラウンドに運び入れ、組み立てです。地区の方々が予め組んでくれていた場所に正月飾りをくくり付けたり、ダルマを乗せたりとみんなが集中して取り組みました。

午後4時になると、いよいよ午前中に組み立てた物を燃やし、1年の健康や成長を祈るどんど焼きが始まりました。すごい勢いで燃え上がる火を見てみんなビックリしていました。子ども達はお昼に用意したお餅をその火で焼き1年の健康や成長を祈りながら食べていました。子ども達の中には地区の人にもお裾分けしてあげる姿もあり、地区の人と交流もする事ができました。そのお餅を食べて、今年1年も餅のように粘りのある努力と成長を遂げていってほしいと思います。

七草がゆ・鏡開き

調理主任 伊藤 慈子

『七草がゆ』とは、春の七草である「せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」を入れて炊いたおかゆの事で、毎年、1月7日の朝に、新年の無病息災・豊年を願い食べるものです。また、寒さに耐える七つの草を食べることで、邪気から身を守り、幸運と長寿を呼び込むと考えられていて、お正月の間の疲れた胃腸を労る意味もあります。

愛育園でも今年の1月7日の朝食に、刻んだ七草をサッとゆで、刻んだお餅と共におかゆに入れ、塩で味を調えた七草がゆを作りました。去年までは、普通に炊いた白飯を、大鍋に入れおかゆを作っていました。時間が経つとぼったりと重くなり、食べやすくするために緩くすると、量ばかり増えてしまうので、今年は大きなガス釜でおかゆを炊きました。うまく炊けたのですが、量が少なかつたようでした。調節が難しいものです。子どもには、少し苦いものだったかもしれませんが、今年一年、みんなが健康で無事に過ごせますようにと願い、みんなでおいしく食べました。

『鏡開き』とは、お正月に神様や仏様にお供えした鏡餅を下げ、雑煮やおしるこにして食べる行事のことです。愛育園でも毎年1月11日のおやつとしておしるこを作ってお出します。お寺でお供えした大きいものと、たくさんの小さい鏡餅を下げてきてもらい、食べやすい大きさにして軽く焼き、おしるこを作り、食堂に集まってみんなで食べます。今年は、小豆を煮て作った手作りのあんこからおしるこを作りました。甘すぎず、とても美味しくでき、子ども達も喜んで食べていました。

愛育園では、日本の古くからの行事を、生活に取り入れ、子ども達と一緒にやることを大切にしています。

雪かき

保育士 近藤 典雄

今年は暖冬の影響もあってかほとんど雪が降らず、子供たちも少し物足りない冬を過ごしていました。

1月17日この日は夜から雪が降り始めました。翌日起きてみると園の外は一面の銀世界昨日からの雪で数センチもの雪が積もっていました。六時の起床前、五時半ごろに子供たちに雪かきをお願いに行くと眠い目をこすりながら起きてきて、雪かきを手伝ってくれました。みんなで雪かきを始めるとあっという間に園の施設内を終わらせてしまい。隣の幼稚園の周りや近所の道路まで雪をかいてくれました。終わったころには体も温かくなり中にはうっすら汗をかいているような子もいました。

その後も、何日か雪が降りましたが、そのたびに雪かきを手伝ってくれました。幼稚園の先生や近所に人たちからは「いつも、ありがとう」と声をかけてもらい子供たちも少し照れくさそうですが一生懸命やっていました。まだまだ寒い日が続きまた雪かきをすることもありますが、また子供たちと協力してやっていきたいとおもいます。

あおぞらホーム ホームだより

保育士 藤本 諒一

新年が明けて早くも一ヶ月が過ぎました。子ども達もお正月気分も抜けてきて、毎日元気に生活を送っています。あおぞらホームではインフルエンザに感染した子も出始め、予防のために手洗いうがいを徹底させています。

三学期も始まり小学生は今シーズン一番の冷え込みであろうとも寒さに負けず、元気いっぱい学校に通っています。帰ってきて宿題を済ませてから体育館で野球やサッカーをしたり、箸ピーにむけて個人特訓するなど元気が有り余っています。中学生・高校生も雪が降れば朝早くから雪かきのお手伝い、夜には志望校へ向けて、免許取得にむけて、学校のテストに向けてと皆それぞれ勉強に取り組んでいます。先月行われたホーム食では餃子を作りました。キャベツや玉ねぎを刻んだり、お肉をこねたり、皮に包んだりそれぞれの工程を一生懸命やり、とても美味しくジューシーな餃子を食べることができ食堂は子ども達の笑顔で溢れていました。今年度も残りわずかです。一日一日を大切に過ごし、しっかりまとめが出来るように生活していきたいです。

まごころホーム ホームだより

保育士 武井 萌

お正月気分も少しずつ抜けてきて、寒い寒いと言いながらも頑張って学校に通う子ども達。習い事をしている子達もいますが、毎週休むことなく自分の力を伸ばすために一生懸命通うことできています。ピアノ教室に通っている子はピアノのテストがあり、緊張感のある会場でもミス無く発表できたようでした。寒さにも負けず、雪が積もっていれば外で雪遊びをしたりソリ遊びしたりと元気いっぱいのまごころさんです。先月行われたホーム食はうどん作りにしよう！と決まり、みんなで「おいしくな〜れ！」と心を込めてうどんを作りました。細いうどんやきしめんのように太いうどんまで、様々なうどんが出来上がりましたが、コシがあってとても美味しく食べることができました。自分達で作ったものをみんなでワイワイ楽しく食べる雰囲気の中、終始たくさんの笑顔が見られました。いよいよ今年度もあと2か月。メリハリをつけた生活を送り、一人一人が今年度のまとめがしっかり出来るといいです。



「今年は暖冬でいいなあ」と思っていたら、1月下旬にふり雪の続く日がありました。やはり冬なんだ！と銀世界に変わった街並みを眺めて思いました。大人にとっては厄介な雪でも、子どもたちにとっては「楽しい雪」。待っていたかのように、雪玉や雪だるま作りなど、雪遊びを楽しむ姿がありました。

雪とともに寒さも増してきましたが、手洗い・うがいを励行し、風邪などの病気を予防して元気に乗り越えたいと思います。

3学期が始まりました
1/8に園内保育の3学期が行なわれました。園長先生におまわりや進級・進学を視野に入れたお話をしているいただきました。幼児さんは、1人ひとり3学期の目標を発表しました。子どもたちの目標が達成できるように援助していきたいと思っております。

2月のわらい
・日本の伝統的な行事を知り、行事にそと制作や活動を楽しむ。
・冬の自然に気づきながら冬の遊びを楽しむ。
2月の行事
・豆まき

楽しいな、そり遊び♪

この冬は、1月前半まで雪もなく暖冬で、「雪遊び、できるのかしら?」と心配していましたが、下旬には、まとまと雪が積もったので、上手にGO! 1人1人、自分で使うそりを持参して、行ってみると、真白になった上手の様子に「うわあー!!」と子どもたち。

年中さん、年中さんは、はじめは恐がって保育者と一緒に滑りましたが、慣れてくると単独で滑るようになりまして。年長さんは終始、単独で楽しんでいました。子どもたちはこうして、冬とも仲良くしつづけていきたいと思っております。



1月生まれ★お誕生会 1/15(金)

園内保育では、今年度最後のお誕生会が行われました。クリスマス会に向けて、自分たちで部屋中の飾りを作った経験をいかし、今回もみんなが輪つなぎを作って当日を迎えました。主役の年長の男の子は、園長先生やお友だちからお祝いの言葉をかけられると、とても嬉しそうにお礼を言い、1つ大きくなったことの喜びをかみしめているようでした。また、自己紹介では「大きくなったら電車の運転手を頑張ります!」と堂々と発表する姿も印象的でした。職員からは「どうぞのいす」の劇をプレゼント。次の人の為に...♡という優しさにはほのぼのとした時間が流れました。



そして最後はおやつ作り。1月といえばおもち!調理の先生にもご協力頂いて、おもちを使ったモチモチドーナツを作りました♡材料を混ぜて、もんで、形にして...すっかりパティシエ気分の子どもたち。オーブンで焼いて、トッピングをして出来上がり!

火焼き立てをパクリ♡予想もできなかったドーナツのモチモチした食感に驚きつつ、その美味しさに笑顔

お正月あそび
サンタさんにもらった「けん玉」に挑戦中ぞす!! 人や物にぶつからない

ように、各々広がってスタート!...が、そんなに簡単には成功しません。それでも何度も続けるうちに年長さんが成功し始めました。それを見た年中さん、保育者の応援を受けて頑張りますが難しい!すると、「どうやらうまいらしいの?」と自分から質問して、アドバイスを取り入れて練習する姿ができました。回数や技に挑戦し、けん玉名人を目指そうね!ガンバレ!! 他にも、すぐくでは自分のコマとして折り紙で「やっこさん」を作り、いくつかのマスに書かれている「歌を歌おう!」「5マス戻る!」などにドキドキしながら



進み、盛り上がりました。また、コマまわしや天気の良い日には上手に行き、スーパーの袋で作った凧揚げも楽しみ、お正月遊びを満喫した1月でした。そして... 2月3日は節分です。こまの体の中にいる鬼を追い払おうと、子どもたちは鬼のお面や豆入れを制作しました。次号をお楽しみに♪

